



『ぶたのたね』

佐々木マキ

永遠の宿敵！おおかみとぶたのお話ですが、
なにやら様子がおかしいおおかみさん。
一体これから何を始める気なのでしょう…？
思わず笑ってしまうような話の展開に、
親子揃ってお気に入りの一冊になるはず！！



『いいから いいから』

長谷川義文

題名の通り、どんなことが起きてもその人柄と
大きな心で受け止めてくれるおじいちゃんのお話。

この絵本を読むと「いいからいいから」という
子どもたちの声があちこちから聞こえてきます。(笑)

シリーズというところも魅力のひとつです！